



2023年6月22日

各 位

会社名 日糧製パン株式会社  
代表者名 代表取締役社長 吉田 勝彦  
(コード：2218、札証)  
問合せ先 取締役経理本部長 那須 英幸  
(TEL. 011-851-8188)

### 特別調査委員会による調査進捗状況に関するお知らせ

当社は、5月18日に適時開示しました「特別調査委員会の設置に関するお知らせ」にて公表しましたとおり、現在専門家で構成された特別調査委員会を設置しており、事案解明に向けて調査を進めております。調査自体はいまだ継続中ではありますが、株主はじめステークホルダーの皆様に対して迅速かつ公平な会社情報の開示をさせていただき観点から、現時点で明らかとなった事実について、下記のとおり、お知らせいたします。

#### 記

#### 1. 特別調査委員会設置の経緯及び調査により明らかとなった事項

- (1) 特別調査委員会設置の端緒は、2023年5月8日、日糧製パン代表取締役社長に対して、社内関係者とみられる匿名人物から「製菓工場の棚卸金額が物凄い金額粉飾されている。」などと記載された電子メールによる通報がなされたことにあります。そこには不適切な会計処理がされていることが疑われる内容が示されておりました。

かかる通報を受け、当社においては、対応を協議、関係者へのヒアリング等、社内調査を行い不適切な処理が行われた可能性の認識を深めました。そのような状況を踏まえ、監査法人とも相談のうえ、5月18日に特別調査委員会を設置し、過年度を含め、不正行為の有無や内容等の事実関係の調査を委託して、その全容解明を図ることとしました。

特別調査委員会においては、現在においても、関係資料の精査、役職員に対するヒアリング、関係者に対するアンケート調査、推計的遡及計算による裏付け調査により、不正行為の有無や内容について検討を継続していただいております。なお、現時点では当事案に類した事象の広がり確認されておりません。

- (2) 現時点までの特別調査委員会における調査検討の結果、当社において、次の不正行為がなされていたことが確認されました。

当社においては、倉庫のほかに、各部門において一定数量の原材料等を管理保管しており、これを倉庫在庫と区別して、「現場在庫」と呼称しております。特別調査委員会による調査によれば、少なくとも一部の部門において、特定の部門長の指示のもとで、自部門の業績を良く見せるため、この現場在庫の棚卸数値を過大計上するとの不正行為がなされておりました。当該部門においては、最低でも過去2年間にわたって不正行為がなされており、2023年3月末時点で過大計上と見込まれる金額は最大で約6000万円に及ぶことが想定されます。

現場在庫の实地棚卸については、各現場の課長を中心として、月中、月末に2度実施するものとしておりました。实地棚卸の結果は、各現場において、所定の書式に手書きで記入して、経理部等に提出し、月次決算、年次決算に用いられておりました。

また、製品の製造工程において原材料のロスが一定数量生じてしまうところ、これは利益率（製造利益）を下げる要因となります。当社では、製造利益の向上を図るため、生産管理部と实地棚卸の結果を共有し、各現場別に原材料のロス発生状況を簡便に把握するための生産管理指標を用いて管理することとしておりました。

そうしたところ、当該部門においては、特定の部門長の指示のもとで、实地棚卸すらせず、生産管理指標の目標数値から逆算する形で棚卸数値を任意に決定し、現場在庫の棚卸数値を過大に報告・計上していたものです。

## 2. 今後の対応について

当社は、特別調査委員会による調査に対して引き続き全面的に協力してまいります。今後のスケジュールとしては、6月29日に株主総会を開催し、議案の審議に加え、継続会開催のご了承をいただく予定でございます。また現時点では7月中を予定しておりますが、特別調査委員から調査報告書の提出を受けた後、速やかに当社の会計監査人である、監査法人ハイビスカスに計算書類を提出し、財務諸表に対する監査法人による監査手続を進めるとともに、「2023年3月期決算短信」の早期開示に努めてまいります。

また、特別調査委員会の調査結果につきましては、引き続き判明次第、速やかな適時開示を行ってまいります。

株主はじめステークホルダーの皆様には多大なるご迷惑とご心配をおかけしますことを、心より深くお詫び申し上げます。

以 上